

発表に向け、努力するから成長する！

みなさん、おはようございます。新年あけまして、おめでとうございます。
皆さんは、どんな冬休みを過ごしましたか。冬休み前に児童会で考えたやくそくは守れましたか？

まず、（ふ…ふゆでも元気に外で遊ぼう！）を守れた人？

次に、（ゆ…ゆうがた5時には家にいよう！）を守れた人？

次に、（や…やめよう！お金のむだづかい！）を守れた人？

次に、（す…するぞ！宿題 計画的に）を守れた人？

最後に、（み…みんなでしょう！大そうじ！）を守れたという人？

たくさんの人が手を挙げてくれましたね。すばらしい冬休みを過ごしたようで校長先生もとても嬉しく思います。でも、何より嬉しいのは、みんな怪我もなく3学期に元気な顔を見せてくれたことが一番嬉しいです。本当にありがとうございます！

ところで、「1年の計は元旦にあり」という言葉を知っていますか？

これは、「一年の計画は年の初めである元旦に立てるべきであり、物事を始めるにあたっては、最初にきちんとした計画を立てるのが大切だということ」です。計画は目標と言い換えてもいいかも知れませんね。また、「一日の計は朝にあり」ともいいます。それほど、きちんと目標をたてて、頑張っていくということが大切なことです。皆さんも目標に向かって頑張ってくださいね。

さて、校長先生は大のフィギュアスケートファンなのですが、冬休みにテレビでフィギュアスケートの全日本選手権が終わり、1年を振り返った映像が放映されていた時にとっても感動した言葉があったので、紹介しますね。それは、NHK杯エキシビションが終わった後に、羽生結弦選手がすべての選手を代表して挨拶をしていた時の言葉です。

「僕たちはみなさんのおかげでこうやってスケートをこの競技を練習して、いっぱい練習して、その成果をみなさんに見てもらうことができます。そして、みなさんに何かを感じ取ってもらえる、また、楽しい時間になれたらいいなというふうに思っています。僕たちのこと、これからも応援してください。」

羽生選手はグランプリシリーズのスケートカナダでジャンプミスを何度もしてしまい、260点の2位に甘んじてしまいました。それから血のにじむような努力をしたと語っていました。その結果、運もあったとは思いますが、NHK杯で322点という世界最高得点での優勝、次のグランプリファイナルでは世界最高得点を更新する330点というとても高得点で優勝したのです。私は一つの発表の場に向けて全力で練習に取り組む羽生選手の誠実さに心打たれました。

なぜ、こんな話をしたのかというと、「発表に向け努力するから成長する」ということを伝えたかったからです。羽生選手は発表する場で、いっぱい練習した成果を見ってもらうことで皆さんに何かを感じとってもらえるといっています。皆さんにも3学期に大切な発表の場がありますね。朝の児童朝会、北播駅伝カーニバル、閉校式、卒業式などなど…。

その中でも2月6日の閉校式とありがとうフェスティバルは、地域の方だけでなく、多可町内から多くの方も見に来てくださいます。八千代南小学校としては卒業式前の最後の発表の場なのです。その場でみなさんは歌を歌ったり楽器を演奏したり劇をしたりして発表すると思いますが、見に来られた方々に拍手してもらえるよう一生懸命努力してください。羽生選手のようにいっぱい練習してください。そして、発表の場が最高の場となるよう準備してくださいということをいいたかったのです。発表する限りは、自信を持って、一番良いものを発表するという気持ちを忘れないでくださいね。

そしてこの1年、目標をきめて計画を立てて努力する1年にしてください。

それでは、これで、校長先生のお話を終わります。頑張ってください。